

県民体育大会国体予選の試合方法及び 東北総合体育大会・国民体育大会の選手選考について

1 県民体育大会国体予選の試合方法について

(1) 県民体育大会国体予選(成年)は下記方法により試合を行う。

- ① シングルス出場者全員で予選を行い、予選勝者によるラウンドロビン方式で順位を決める。
出場者が少ない場合は、予選を行わず、ラウンドロビン方式で行う場合もある。
- ② ダブルスは行わない。

2 東北総合体育大会及び国民体育大会の選手選考は、下記の条件を踏まえて(県民体育大会国体予選出場は絶対条件)選手選考委員会で決定する。

(1) 東北総合体育大会

- ① 成年男女
 - ・その年の県民体育大会国体予選に出場して上位成績を修めた者。
 - ・選手選考委員会が特に代表者として適切と認める者。
 - ・代表選手は3名とする。なお、別に選考する監督は選手を兼ねることができる。

(2) 国民体育大会

- ① 成年男女
東北総合体育大会出場者の中から同大会および県民体育大会国体予選等の結果をもとに2名を選考する。
- ② 少年男女
 - ・その年の県民体育大会に出場して上位成績を修めたもの
 - ・選手選考委員会が特に代表者として適切と認める者。

☆選手選考は、選手選考委員会の出席者の過半数の同意のもとにて議決する。
選手選考委員会の構成は別に定める。